

[第 169 回藤樹人間学塾のご案内]

皆さま

2025 年 12 月



主 催 NPO法人高島藤樹会

- 日 時 2026 年 1 月 10 日 (土) 15時～17 時
- 場 所 高島市安曇川公民館(高島市安曇川町田中89) ☎0740-32-0003
- テーマ 「近江聖人中江藤樹 特に孝の教えについて」講話とフリートーキング
- 塾 長 田中 清行 (090-1026-7882)
- 懇親会 17 時 45 分～ 場所 丸三旅館(高島市安曇川町西万木1045-1)
☎0740-32-1339

参加費 6,000 円★参加いただける方は、1/6 までに田中までご連絡ください。

2025 年 12 月 6 日(土)、安曇川公民館で第 168 回藤樹人間学塾を開きました。今回は京都から 1 名、大津から 3 名を入れて 11 名の参加でした(うち初参加 1 名、女性 3 名)。

■ テキスト

『中江藤樹・熊沢蕃山』(中公バックス日本の名著)

■ テキストの見出し

「集義和書」巻九 義論の二 夜眠れない人、物に即(つ)いてその理を窮(きわ)む、を輪読し、配布資料も説明。

■ 今日のポイント

- ・ 夜眠れない人…精神を使い減らすから。天下に何を思い煩うことがあろう。ただ義に従い、理に応ずるだけでよい。どうして少しの褒めそしりでこの心を煩わすことがあろう。…アドラー哲学を説いた書である『嫌われる勇氣』には、承認欲求からの開放、他者の課題と自分の課題を分ける、他者から嫌われる可能性を受け入れつつも、自分の価値観に従って行動すべきと説いている。
- ・ 物に即いてその理を窮む…物は事である。蕃山は物は五倫(君臣、父子、夫婦、長幼、朋友の關係)とする。格物致知とは、朱子学では事物の理を窮めて知を明らかにするという。陽明学では意のある所の不正をただし良知を取り戻すという。人は力を合わせ知恵を集めて天下のことを尽くさなければならない。人の知を羨まない。自分が到達しても満足しない。成功しても誇らない。
- ・ 田口佳史「孟子 良能・良知一人間に備わった生まれつきの力」(致知)…孟子は、人間には生まれつき、良能(訓練せずとも備わる力)と良知(正邪を自然に判断できる心)があると説く。混迷の時代に、良知・良能を広める事こそよりよい社会をつくる道である。

■ フリートーキング

- ・ 「人はそれぞれ心の程度、即ち生き方、思想のレベルでしか吸収できない。もっと勉強して頭での理解から深く洞察して AI に負けないになりたい」
- ・ 「悩みをなくすために、承認欲求からの開放、他者の課題と自分の課題を分ける、ことが参考になった」

などの意見をいただきました。ありがとうございます。

皆で学ぶと議論が深まります。学ぶは愉し！本塾も 15 年目に入りますので一度原点に還って、田中が「近江聖人中江藤樹 特に孝の教えについて」90 分間の講話をし、その後フリートーキングとします。参加費無料です！人間学に関心のある方はどうぞご参加ください。

